

# 議会だより



ビー玉をつかった科学の実験 (放課後子ども教室)

6月定例会 (補正予算など).....	2~4
臨時会 (第1回、第2回、第3回).....	5
<b>委員会による町政の調査</b> (保育所ちびっこランド 苦小牧かすが園、苦小牧市夜間・休日急病センター、放課後子ども教室、当別ダム、厚幌ダム).....	6~11
<b>平成25年度に実施した事業の行政効果を確認</b> (町内行政視察).....	12~13
全員協議会報告.....	14
研修レポート (全道議員研修会).....	15
<b>あの質問はどうなった</b> (追跡レポート).....	16~17
<b>一般質問「ここが聞きたい」5氏が町政を問う</b> .....	18~22
議会と議員の活動報告.....	23
元気なあつまの子 (厚真郷芸保存会).....	24
地域の話 (ハスカップ・カフェ).....	24

# 6月定例会

6月12日・13日に定例会が開催され、臨時職員の賃金増額千百二十六万円など、一般会計補正予算を原案通り可決した。

## 一般会計 補正予算

全員賛成で可決

主な補正予算

臨時(嘱託)職員賃金

補正額 1126万円

財源 町全額

臨時職員の賃金について見直しが行われ、賃金単価の改定や、新たに期末手当0.5カ月分が追加支給されることになりました。賃金及び社会保険料が増額になっています。

(主な質疑)

― 公金を含んだ運営をしていて、賃金体系が現場に準じている団体に対して、賃金改定を指示したか。また、そういった団体から賃金改定の要望や協議はあったか。

副町長

役場から指示などはしていないが、賃金を変更した場合に、町の臨時職員の賃金体系を参考にしている団体に知らせることはある。それぞれの団体にもいろんな職種や賃金体系があるので、そういった要望や町費の支出に関連することがあれば当然協議されるかと思う。

森林整備加速化・  
林業再生事業

補正額 626万円

財源 町全額

新町パークゴルフ場に建設予定のバーベキューハウス建設場所の整地や立木の整理、給排水設備の工事費などの費用です。

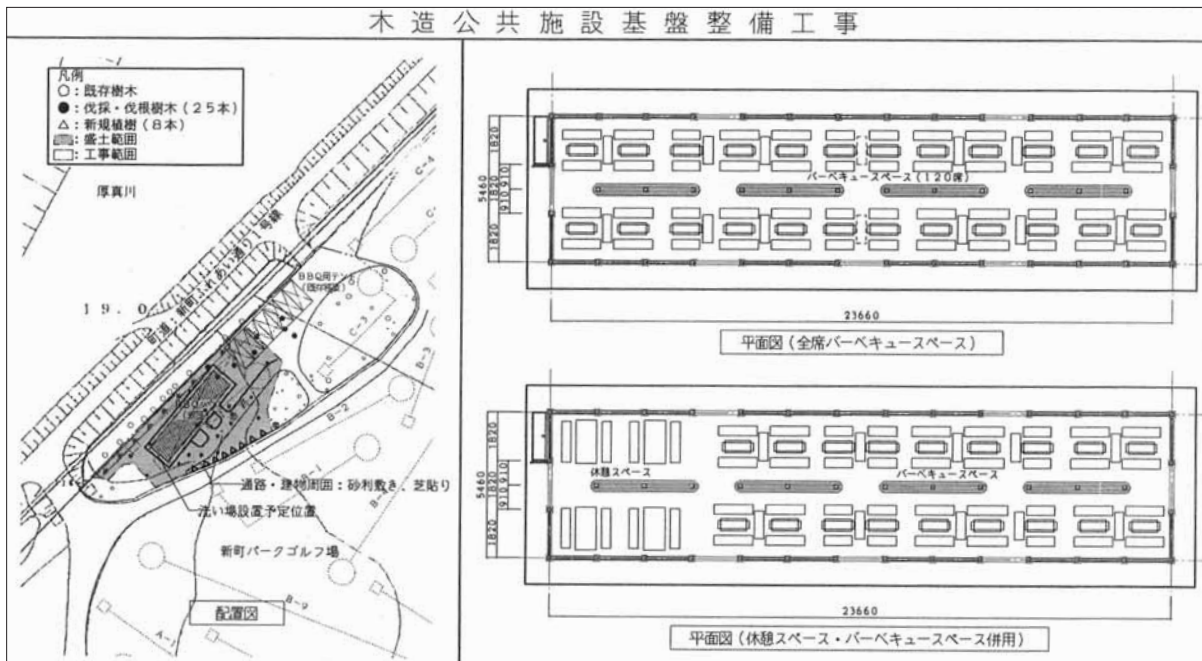
(主な質疑)

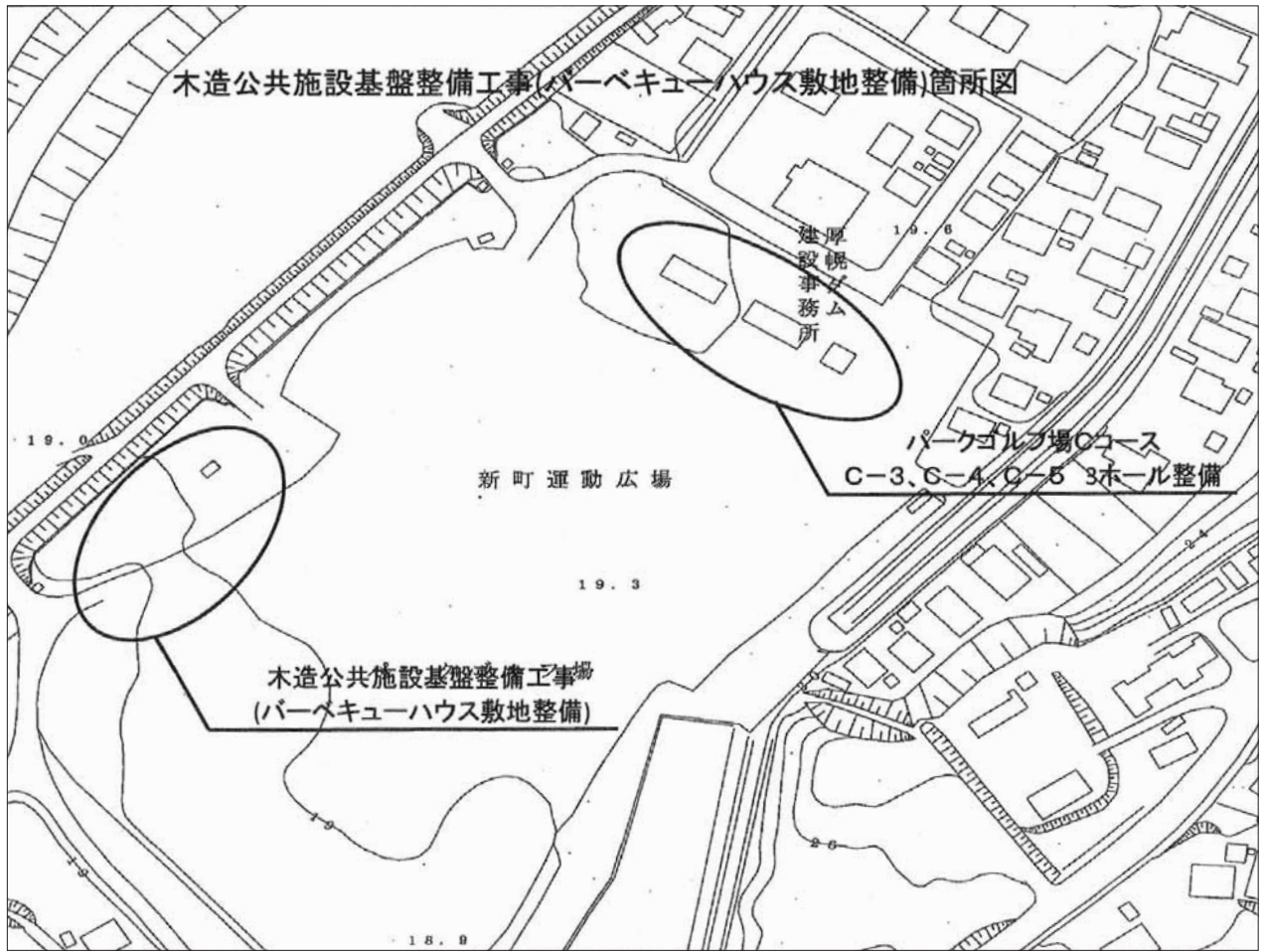
― 図面では、全て椅子がついているが、車椅子対応のスペースを設けた方がいいのでは。

産業経済課参事

施設の中のレイアウトは自由であり、入口のスロープなど考慮して、現在設計中である。

木造公共施設基盤整備工事





**新町パークゴルフ場整備事業**

補正額 350万円  
財源 町全額  
新町パークゴルフ場に建設予定のパーベキューハウス建設に伴い消滅するCコース3ホールを新設する経費です。

**買い物弱者支援対策事業**

補正額 264万円  
財源 町全額  
商工会が実施している買い物弱者支援対策事業を7月から継承する事業者に対する補助です。

(主な質疑)

― 町内の広範囲の地域をカバーすることは大きな問題になってくると思う。現在軽トラやバンで運行しているということだが、大きな移動販売車での運行など抜本的な対策についての考えは。

**町長**

買い物弱者対策は、で

きるだけコミュニティビジネスとして自立していただきたい。小さな車で回るのは限度があるので、究極は、大きな外販専用車を構えて運営し、その中に見守りのな機能も持っていた、だのがふさわしいと考えている。

**地域活性化推進事業(新鮮組補助金)**

補正額 100万円  
財源 町全額  
今年9月にあつま新鮮組が実施を計画している婚活事業に係る経費を補助します。

(主な質疑)

― 定員があふれるほど、魅力ある内容にしてみたい。その構想は。

**産業経済課参事**

この一回限りで終わらずに、婚活イベントが終わった後も、参加していただいた女性の方に、町内のイベントにボランティアとして参加していただくようなことを検討し、

継続していきたいということである。

**コミュニティ助成事業補助金(厚真郷芸保存会)**

補正額 250万円  
財源 コミュニティ助成金

250万円  
コミュニティ助成事業(宝くじ助成事業)を活用し、厚真郷芸保存会が活動に使用する太鼓等の備品を新たに購入する費用を補助します。

(主な質疑)

― 今回購入する太鼓の所有権は。

**副町長**

町費をもって補助するのではなく、制度上、町の会計を通じて交付されるお金であり、一般的な補助金と異なり、所有権は団体にある。

## 人権擁護委員 候補者の推薦

高田真知子さんの推薦  
について、全員一致で賛  
成しました。



## 厚真町福田榮佐 久児童基金条例 の制定

就学前の児童の福祉向  
上並びに児童教育支援に  
資するため、故福田榮佐  
久の意思による寄附金を  
もとに、厚真町福田榮佐  
久児童基金を設置しまし  
た。  
この基金から生じる収益  
は、読み聞かせ本の購入  
や備品の購入に充てられ  
ます。

## 軽自動車税引 き上げを決定

町税条例を一部改正し  
ました。改正内容は、法  
人町民税の引き下げ、軽  
自動車税の税率引き上げ、  
肉用牛の課税の特例の3  
点です。  
軽自動車税は、平成27  
年4月1日以降に初めて  
登録する車両は、四  
輪乗用自家用が1・5倍  
その他が1・25倍とな  
ります。

区 分		改 正 後	改 正 前
原動機付き自転車	総排気量が 50cc 以下のもの	2,000 円	1,000 円
軽自動車	二輪のもの（測車付のものを含む）	3,600 円	2,400 円
	三輪のもの	3,900 円	3,100 円
	四輪以上のもの 乗用・営業用	6,900 円	5,500 円
	四輪以上のもの 乗用・自家用	10,800 円	7,200 円
	四輪以上のもの 貨物・営業用	3,800 円	3,000 円
	四輪以上のもの 貨物・自家用	5,000 円	4,000 円
	雪上を走行するもの	3,600 円	2,400 円
小型特殊自動車	農耕作業用のもの	2,000 円	1,600 円
	その他のもの	5,900 円	4,700 円
二輪の小型乗用車		6,000 円	4,000 円

平成27年4月1日以降に初めて登録する軽自動車等の税額は、上記の用に引き上げられます。  
※新車登録後13年を経過した三輪以上の軽自動車には重課の規定が設けられました。

## 議員の派遣

議会閉会中に次の件に議  
員を派遣します。  
・北海道町村議会議員研  
修会

・議会議員町内行政視察  
・北海道町村議会広報研  
修会

## 所管事務調査 の申出

議会閉会中に委員会に  
よる調査を行います。

総務文教常任委員会  
(事務調査)

・東胆振広域圏定住自立  
構想  
・厚真地区認定こども園  
の進捗状況

産業建設常任委員会

(事務調査)  
・平成26年渇水対策  
・町内におけるポイント  
カード事業の状況

# 臨時会

## 第1回臨時会

第1回臨時会は、4月28日に開催され、議案2件を審議し、専決処分の報告2件を受けました。

### 防災無線整備工事 請負契約の締結

討論

【反対】海沼議員

見積価格と設計価格の、これが実質の入札金額となると思う。これまで協議の末この金額になったということであるので、この金額から下げた予定価格を設定するのはまずいし、さらに予定価格から下がる契約金額になるのはおかしい。

【賛成】木本議員

設計金額は、「どなたがやってもできるよ」という金額だと思う。それで契約金額は、うちの会社はこれでできますと決定した金額だと思う。今回の契約は、これで致し方ないと思う。

採決

賛成7

反対2（今村昭一、海沼裕作）

イントラネット  
サーバー機器の購入

賛成多数で可決

賛成8

反対1（海沼裕作）

### 専決事項の承認

事案 損害賠償

概要 上厚真新団地6号棟の給水管が老朽化により破損し漏水したため、被害者宅の居室が浸水したことにより家具家電等に損害を与えた。

示談内容 町には住宅管理上の瑕疵がありあり、被害者には全く過失はなく、過失割合を町の10割負担とし、本件事故に関する合意に至った。

賠償額

A 698,046円  
B 135,300円

## 第2回臨時会

第2回臨時会は、6月25日に開催され、議案2件を審議しました。

町過疎地域市町村  
計画の策定

全員賛成で可決

### 町有財産の貸付

全員賛成で可決

## 第3回臨時会

第3回臨時会は、7月9日に開催され、推薦1件、議案1件をそれぞれ全員賛成で、可決、決定しました。

### 町農業委員の推薦



山田澄江さん



奥井 貢さん

### （用語説明） 専決処分

町村長と議会の関係を調整する手段の一つとして、町村長の専決処分がある。「専決処分」とは、議会の権限に属する事項について、町村長が議会に代わって意思決定を行うことである。専決処分をすれば、議会が議決したのと全く同じ法的効果を発生する。したがって、議会としては、その慎重な運用を真剣に見守らなければならない。この専決処分には二つの場合があり、一つは地方自治法の規定によるもの、他の一つは議会の委任によるものである。

#### 一、法の規定による専決処分

1、専決処分できる場合  
法第一七九条の規定によるもので、次の四つの場合に許される。  
①議会が成立しないとき  
②法第一一三条ただし書きの場合において、なお  
会議を開くことができないとき  
③町村長が、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき  
④議会が議決すべき事件を議決しないとき  
2、議会への報告と承認  
町村長が専決処分した場合は、次の議会において報告をし、承認を求めなければならない（法一七九Ⅲ）。  
3、不承認となった場合の効力  
もし、議会が、不承認とした場合も、専決処分は一度効果が発生しているので、無効にはならない。  
二、議会の委任による専決処分  
議会の権限に属する簡易な事項で、議会が議決によって、特別に指定したものは、町村長が処分できる（法一八〇）。

（議員必携より抜粋）

委員会による町政の調査

# 総務文教常任委員会

4月23日に所管事務調査を行いました。調査内容は次の通りです。

## 現地調査

1. 保育所ちびっこランド苦小牧かすが園（苦小牧市）
2. 苦小牧市夜間・休日急病センター（苦小牧市）
3. 放課後子ども教室開催状況

## 事務調査

1. 放課後子ども教室開催事業

## 調査理由

保育所ちびっこランド苦小牧かすが園は無認可保育園であるが、規模、敷地等の狭い中で、非常にいきいきとした幼児保育を行っており、今後のこども園等運営の参考になると思われる。

苦小牧夜間・休日急病センターは、町としても2次医療機関の負担を軽減するという目的からも非常に頼りになると思われる。

放課後子ども教室は、児童・生徒対応に非常に充実していると思われ、調査を行った。

委員長 今村昭一  
委員 井上次男 三國和江 海沼裕作

## 放課後子ども教室 開催事業

### 主な質疑

**問** 個人負担をもらって活動したというのは、どのような内容か。

### 生涯学習課主査

夏休み期間中の特別教室で実施したラフティンクの活動が、通常のスポーツ安全保険の適用外であったため、一時的に国内旅行保険に加入したので、その分の負担を求めた。

**問** 子どもたちがもつと

真剣になれるようプログラムを精査した方がいいと思うが。

### 生涯学習課主査

子どもたちにとって、何かものを作るといふことは、日常にはない活動である。日常になくなってしまった普段の生活のものを、丁寧に段階を踏みながらやっていくということが大事だと考え、設定している。

**問** たまたま卒業した中学生が懐かしんで遊びに来ていたようだが、受け入れについての考えは。

### 生涯学習課主査

中学生でも地域の人と考えれば、色々な人と関わっていくことで子どもたちのコミュニケーションが増すので、良いことである。

重要なのは安全の部分なので、今後受け入れ体制を考えていきたい。

**問** 放課後教室は第2の学校生活だと思うが。  
**教育長**

放課後子ども教室は子どもたちの時間である。子どもたちが自分たちのニーズに合ったものを求めながら、一定の時間を過ごすことが、子どもたちの色々な成長につながる。活動を通して、子どもたちが様々なことを展開できるように力を培っていければ、放課後子ども教室の役割は、非常に大きい。





こどもたちが生き生きとしている、保育所ちびっこランド苦小牧かすが園



苦小牧市夜間・休日急病センター

委員会による町政の調査

# 産業建設常任委員会

4月21日に委員外議員を招いて、現地調査及び事務調査を行いました。

## 現地調査

当別ダム建設に伴う経済効果

## 事務調査

当別ダム建設に伴う経済効果

## 調査理由

厚幌ダムの本体工事が本年10月から始まるので、大変重要なことであると考え、委員外議員を招いて議員全員による調査を行うこととした。

委員長	木戸嘉則				
副委員長	吉岡茂樹				
委員	大捕孝吉	下司義之	木本清登		
委員外議員	今村昭一	井上次男	三國和江	海沼裕作	

## 当別ダム建設に伴う経済効果(石狩管内当別町)

### 資材

- ・町内で取り扱う資材は、石や砂利、木材、鉄骨などがあつた。
- ・当別は砂利の宝庫なので、町内に発注された資材のほとんどは砂利であつた。

### 町の動き

- ・早期建設を願う総決起集会を開催した。
- ・道や請負業者に対して町内業者の活用を要望した。
- ・事業組合に対し、町から補助はしていない。
- ・基本的には組合と道、工事事務所が直接やりとりをしているので、町が積極的に支援したということではない。

- ・町内の受注体制
- ・当別ダム資材物資供給事業組合が、資材や物資を含めて町内発注の要望活動を実施した。
- ・組合が仕切るのは、決

- ・町内で取り扱う資材は、約21億円が当別町内に発注されているが、事業組合が取引しているのはそのうちの6千万円程度である。

### 受注状況

- ・組合では、工事宿舍の食堂で使用する食材や、工事現場に設置する自動販売機の設置幹旋料、燃料の配送料などの発注の調整が中心であり、代金は直接業者へ支払われている。

### 議会の動き

- ・当初は、水没予定者の補償問題などがあり、ダム開発特別委員会を設置し、議論をした。
- ・建設が決まってからは、道に対して、町内業者の利用を要望した。

### 工事宿舍

- ・市街地から15kmほど離

められた部分のみであり、それ以外は、直接町内の建設業者や原材料業者で受注している。

- ・ダム本体工事の中で、約21億円が当別町内に発注されているが、事業組合が取引しているのはそのうちの6千万円程度である。

- ・工事現場の食堂では相対数の食材が必要となり、また調理員も町内の雇用があつたと思うので、町にもかなり経済効果があつた。

### 工事事務所

- ・請負業者が街中に現場事務所を設置した。
- ・町内の遊休施設を使ってほしいとお願ひし、賃貸で使用してもらつた。
- ・工事事務所は道のダム事務所と連絡調整をする人が詰め、多いときは20人位いたこともある。

### 地域貢献

- ・町内のイベントへ積極的に参加、支援してもらつた。

### ダム情報館

- ・工事期間中にダムサイトにプレハブのダム情報館を開設したが、工事期



間終了と共に撤去された。  
 ・資料の一部は町へ寄贈してもらった。  
 ・要望すればダム情報館を造ってくれるかもしれないが、その後の管理は町で行うこととなる。

**親水公園**

・公園を整備してもらったが、その後の管理は町で行っている。  
 ・親水公園を火葬場の横に造ったので、ダム堤体と行き来できるような仕組みになっていない。  
 ・ダム湖に「ふくろう湖」と名前を付けたが、満水時のきれいな景観がどの位の期間維持できるかによって、観光資源としての活用を検討していく。  
 ・付け替え道路を整備したので、サイクリングのイベントを誘致する話もあるが、町道の整備も課題であり、合わせて議論していかないと、大きな観光資源にはならないと思っている。

メリット・デメリット  
 ・地域貢献という点では、請負業者の人員を見込んで、新たなイベントを立ち上げたりすると、工事終了後は大変になることがある。  
 ・工事期間中は、受注量が一時的に増えるので、

それがなくなつたときの反動は考えなければならぬ。  
 ・建設業者は、ダム関連の受注が増えても、他が減るので、受注額が急激に伸びるといふことはない。



委員会による町政の調査

# 産業建設常任委員会

4月22日に事務調査を行いました。

## 事務調査

1. 厚幌ダム建設に伴う経済効果
2. 厚幌ダム周辺の環境整備

## 調査目的

厚幌ダムの本体工事が本年10月から始まるので、大変重要なことであると考え、調査を行うこととした。

委員長 木戸嘉則  
副委員長 吉岡茂樹  
委員 大捕孝吉 下司義之 木本清登

## 厚幌ダム建設に伴う経済効果

(主な質疑)

**問** 現場事務所に旧共済組合の事務所を活用することは、できないか。

**産業経済課参事** 今後、請負業者が決まったら、そういう話も出てくるかと思う。

**問** 請負業者から現場宿舍建設の要望が出た場合、用地について、旧幌内小学校グラウンド跡地などがあるかと思うが、町としての考えは。

**建設課長** ダム事務所から活用できる町有地について打診があり、知らせて経緯がある。宿舍となると、かなりの人数になるが、水の確保は、富里くらいまでしか行っていないので、今後問題になってくるかと思う。

**問** これから入札となるが、参加申請の段階で、町から道に対して、地域貢献という点で要望して

いくことは可能か。

**建設課長** ある程度町の考えをまとめて、提示することは可能である。

**問** どんなことを地域貢献の要望として出そうと考えているか。

**産業経済課参事** 田舎まつりなどお祭りへの参加や、詳細は未定だが、植樹会などへ協力をお願いを検討している。

**問** 厚幌ダム資材・物資供給特別委員会が設立されたが、町としてのどのように捉えているか。

**産業経済課参事** 商工会の内部組織というか、任意団体という性格のものであると理解している。

## 厚幌ダム周辺の環境整備

(主な質疑)

**問** これまでの道路は、非常に道が悪かったが、今後穂別までの道路は整備されるのか。

**建設課長** ダムに水が入るまでには全て整備される見通しである。

る見通しである。

**問** ダム湖での水上モータースポーツは可能か。

**建設課長** 水源としては好ましくないと思っっている。だが、実際にそのようなスポーツを行っている事例もあるので、今後調べていきたい。

**問** 厚真ダムと厚幌ダムまでの間で地形を利用しながら、展望台などの施設を分散させていくという考え方が。

**建設課長** 現段階ではあくまでイメージだが、敷地的に取れる場所がないという状況がある。ここだけという捉え方ではなく、流域全体として進めて行きたい。

**問** 厚真ダムキャンプ場の復活という可能性があるか。

**建設課長** 活性化委員会ですらうい提案もあるが、水の確保という問題があり、今後検討していかなければならないと思っ

いる。

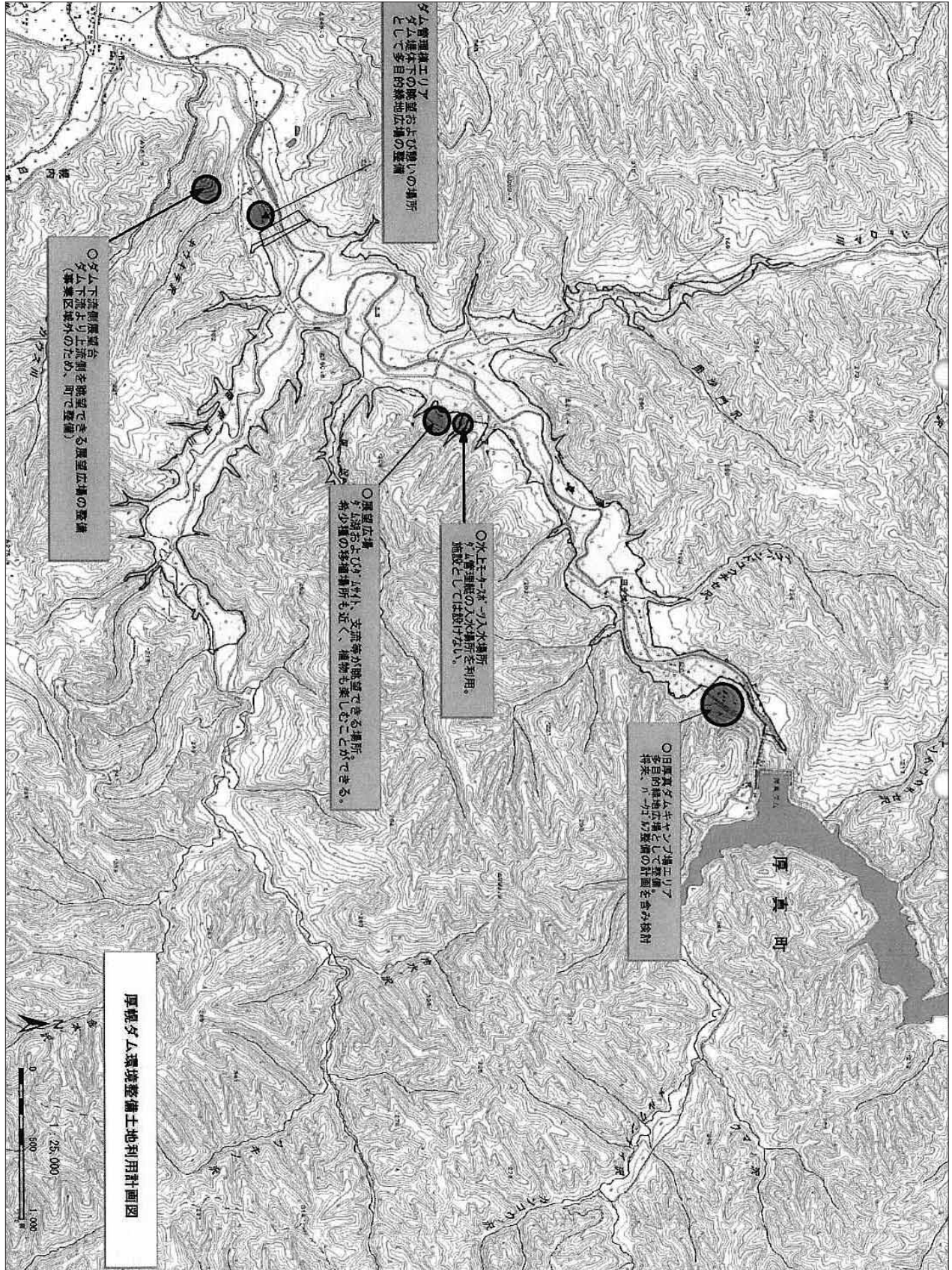
**問** 厚幌ダムは、厚真ダムと違って水が枯れることはない、ダムより上で魚を増やすとい取り組みも可能か。

**建設課長** 可能である。

**問** 厚真ダムは、最後に下から水を抜いて堆積物をはぎだしている。今後それらが厚幌ダムの中に溜まっていくが、その対策は。

**副町長** 当然泥の堆積分も考慮に入っている。

(土地利用計画図は構想段階です)



# 政効果を確認！

確認と、農作物の作況状況を確認しました。



厚幌ダム展望台建設計画地周辺（幌内）



水稻育成状況（宇隆）



児童会館改修工事（京町）



厚真中央小学校防犯システム設置工事（新町）



良工事（豊沢）



新町公園整備工事（新町）

# 平成25年度の行

7月9日に平成25年度に実施された事業の概



豊沢地区ほ場整備事業（豊沢）



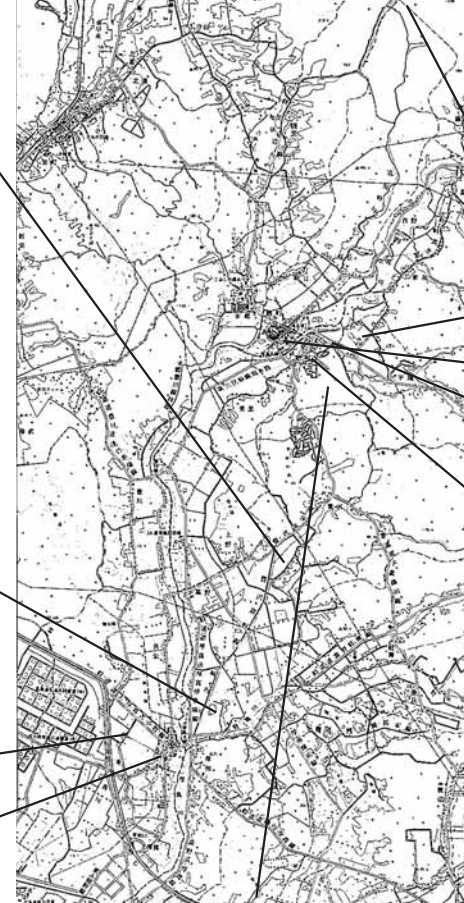
富里地区取水堰建設工事



厚南中学校太陽光発電施設工事（富野）



畑作物生育状況（共和）



上厚真地区柏土地区画整理事業宅地造成工事（上厚真）



町道新町フォーラム線道路改

# 全 員 協 議 会

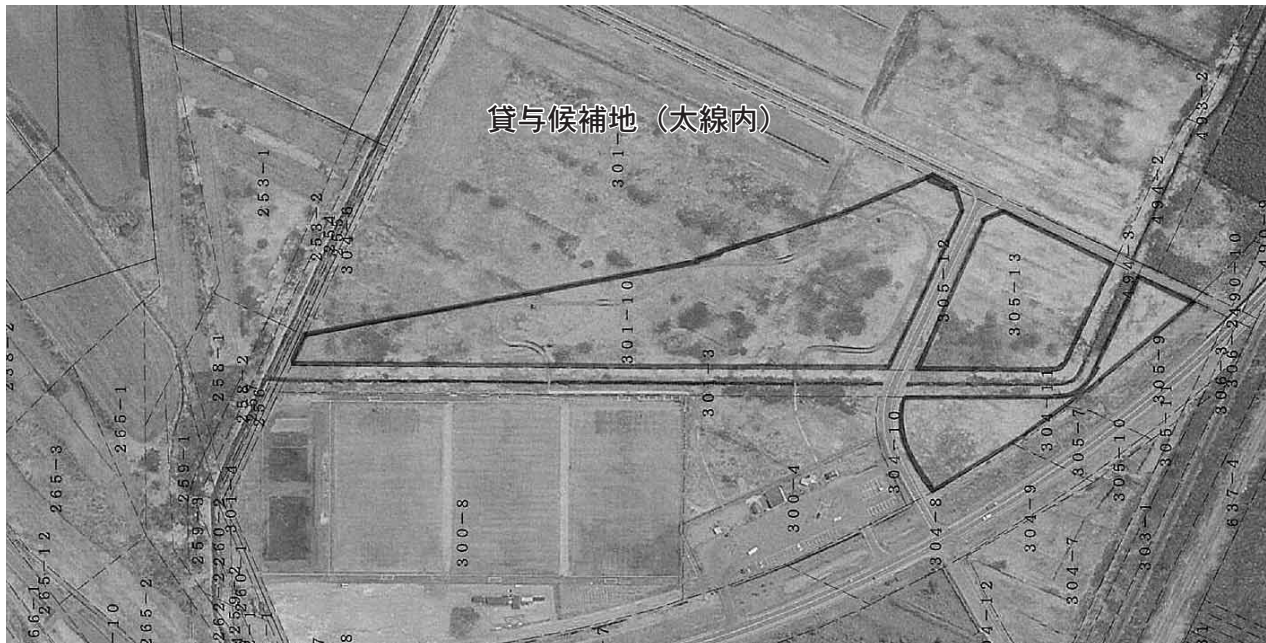
4月28日と6月13日に全員協議会が開催され、浜厚真地区における太陽光発電事業計画、過疎地域自立促進計画（素案）について協議しました。

全員協議会は、議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うために開催されます。

## 第1回全員協議会

4月28日に開催され、浜厚真地区における太陽光発電事業計画について協議されました。  
内容は、浜厚真野原公園（町有地）の一部を発電事業者に貸与するというものです。

国道 235 号線沿いの浜厚真野原公園付近



## 第2回全員協議会

6月13日に開催され、町過疎地域自立促進市町村計画（素案）について協議しました。

厚真町は平成26年の法改正により、過疎地域として指定されました。

過疎地域は、過疎地域自立促進特別措置法第1条の目的に規定している「総合的かつ計画的な対策を実施するための必要な措置」を講ずるため、都道府県が定めている過疎地域自立促進計画を定めることができます。

（法第6条）

この計画を作成することにより、対象事業に伴う町の借入金（過疎債の元利償還金）の70%が国から交付されます。

# 「さわらぬ神に祟りなく」 ではなく

北海道町村議会議員研修会参加レポート  
海沼 裕作



7月4日札幌において、恒例の北海道町村議会議員研修会が行われた。過去に森田実政治評論家・辛坊治郎読売TVアナウンサー・寺島実郎日本総合研究所理事長・橋本五郎読売新聞編集委員などの講演を聞いていたが、今回は橋本五郎氏と廣瀬克哉法政大学教授の話に恵まれた。

はじめに廣瀬克哉法政大学教授は、「議会改革のこれから」と題して、地方議会は縮小におかれている立場と議会基本条例（普遍的行動）を中心に講演された。特に、栗山町議会が全国最初の議会基本条例を制定したことに触れたが、何かこの制定に少なからず関与していたようにも感じた。全国の自治体の4分の1が議会基本条例を制定しているという現状だが、その内容は、随時修正をしているようでまだ緒に就いたばかりの感がある。ちなみに、厚真町議会は制定をしていない。理由

は、まだ試行錯誤の中ということ、世間一般の



常識を明文条例化したもので、その地方の風土に照らし合わせた独創的なものではなく、模範条例をコピーしたようなものだからである。議会改革の裏には、おおむね学者や研究者が裏で指南をしていると僕は思っている。次に橋本五郎氏は「これからの日本の政治」と題して、議員の持つべき心情について地方と中央・大企業と小企業・農業と工業・強者と弱者のように対峙する関係を越えることや、秋田に住む母親の行動を通しての話し

から相互に理解する関係になるように、また私情を捨てて公人となるべきとも話された。

ヤジは議会の花ともいわれるが、時はちょうど地方議会の品位を下げるヤジ問題が苦小牧市・東京都議会でも、また、政務調査費について号泣記者会見をした兵庫県議、集団自衛権に抗議自殺した行動を蔑視する札幌市議会議員などの事件が連続して発生した。一議員の議員力の低下というより議会力をも低下させたと思う。また、この愚行にあわせ議会活動を第一義に再度思い出さなければならぬ。

しかし、『さわらぬ神に祟りなし』ではなく、ヤジを飛ばし、会議を活性化してみたい。

# どうなった

「あの質問はどうなった」と題して、一般質問の提言などがその後どうなったか、お知らせします。

【平成25年12月定例会】

## 緊急時のアレルギー対策研修を

本町にも食物アレルギーのある児童・生徒がいる。緊急時に対応するため、小・中学校の教職員や保育士を対象に、アナフィラキシーショック症状を緩和するエピペン投与の研修をしては。

### 教育長答弁

## 必要に応じて適切にする。

現在、町内に重度のアレルギーによりエピペンを使用する児童・生徒はいないが、アレルギーの内容に応じて、必要な研修は常に適切に行っていくたい。

### どうなった

## アレルギー対応研修会を開催

今年6月に保育園、各小中学校、保護者、消防署、学校給食関係者などを対象としたアレルギー対応研修会を開催した。

食物アレルギーが起こる仕組みや、アレルギー症状が起きた場合の対処法など最新情報を交えた解説を受けた。またエピペン注射薬の使い方についても練習器具を用いて学んだ。

【平成25年12月定例会】

## 古民家の建設場所は

古民家の再生建築期及び場所、活用方針は。

### 町長答弁

## フォーラムビレッジを考えている

移築再生場所は、フォーラムビレッジ入口、時期は平成26年度下期、活用方針は、外から人を呼び込める施設を考えている。

### どうなった

## フォーラムビレッジに決定した

建設地はフォーラムビレッジに決定し、5月には活用提案者の公募を行い、活用者も決定した。



【平成25年12月定例会】

## 廃屋をなくす対策を

廃屋は、風紀・環境上も好ましくない。所有者を把握し、廃屋をなくす対策をすべきでは。

### 町長答弁

## 他の事例を参考に検討する

行政としては、法令がないので、これに代わる条例を定め、助言、指導、命令をできるようにしたい。他の町の事例も含めて検討を進めている。

### どうなった

## 町内の廃屋・空き家調査を進めている

国の法律化の動向を見ながら、空き家対策に向けた準備とその基となる町内の空き家、廃屋調査を進めている。現在は、町内の空き家等に関するデータベースの整備と合わせて、現地調査も行っている。

皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。  
連絡先：厚真町議会事務局  
TEL 0145 - 27 - 2485  
E-mail gikai@town.atsuma.lg.jp





# あの質問は

【平成25年 3 月定例会】

## 厚高存続に対する支援策は

近隣でも高校存続のため、厳しい財政の中、支援を行っている。魅力ある支援策を検討する必要があるのでは。

教育長答弁

## 25年 6 月頃を目途にまとめる

26年度以降の入学者確保に向け、地域に根差した特色のある教育活動をさらに高めるため、即効性・継続性・効果性のあるものを見据え、関係機関と協議を重ね、生徒募集が始まる6月頃までには支援策をまとめたい。

どうなった

## 支援策の充実を図った

- ・学校案内を 400 部作成した
- ・25年 8 月から通学用定期券購入費、資格検定に係る検定費用の補助率を 1 / 2 から 3 / 4 に改めた

【平成25年 9 月定例会】

## 上厚真認定こども園の建設予定地・運営方法は

町有地を有効に使った建設地となっているか。また、運営方法はつみきと同じか。

町長答弁

## 25年度中に建設場所、構想を確定したい

上厚真の整備計画・児童館建設構想と併せて、25年度中に建設場所を確定したい。運営については、つみきと同じ運営方法で行う。

どうなった

## 建設候補地 3 カ所を選定し、協議している

建設候補地を 3 カ所に絞っている。そのうち 2 カ所は、私有地となるので、それぞれの地権者と交渉を進めている。運営方法は、当面直営による運営を考えている。

【平成 25 年 9 月定例会】

## 地域おこし協力隊の任期満了後は

地域おこし協力隊は期間が最長 3 年である。継続していくためには、本人自助努力が第一であるが、期間延長も含めた公的支援が必要では。

町長答弁

## 安心して活用できるよう支援したい

4 年目以降の支援は考えていない。農業支援員は、営農開始から 5 年間、国の支援策がある。観光・特産品支援員には、起業支援型の制度設計を考えている。林業支援員は、すぐに経営するのは難しい状況なので、就業できるような道筋を整えたい。

どうなった

## 新しい制度を活用し支援する

農業支援員は、野菜・養鶏と 2 人が独立、1 人は就農研修中、1 人は野菜を作りながら就農中、今年度、新規採用が 1 人、計 5 人が活動中。観光・特産品開発支援員の独立については、25 年度に創設した町起業化支援事業等により支援する。

## 一般質問

ここが聞きたい

### 防犯対策

## 通学路に防犯監視カメラの設置を検討しては

**答** 地域の見守り体制を構築することが優先である

**問** 小・中学校女子児童・生徒の拉致、誘拐事件が全国的に多発しているが、町でも通学路への防犯監視カメラの設置を検討する時期に入っているのではないかと思うが、町長の考えは。

**町長** 児童・生徒の安全を図るという意味では、交通安全指導員、補導員と連携した登下校の見守りで万全ではないが、防犯監視カメラについても一長一短がある。地域を上げての見守り体制を構築して、住民の皆さんのご協力をお願いすることが先だと思う。

町として関係機関等と協議をして、最新の技術を利用していけるか、今後とも研究は進めたいと考える。



木本清登 議員



通学路に防犯カメラを設置したい

## 経済効果

## 町長自ら具体的要望をトップセールスするべきでは

**答** 公共事業を発注する立場としては、非常に難しい

**問** 厚幌ダム建設に伴う経済効果について、商業者においては、いろいろな面で期待している。その経済効果を高める取り組みの一つとして、受注業者が決定次第、すぐに町長自ら受注業者の本社へ出向き、市街地周辺の活用など具体的要望をトップセールスするべきだと思うが。

**町長** 本町の経済界にとっても千載一遇のチャンスと認識し、非常に期待が高まっていると感じている。

受注業者に直接私が要請するのは、立場としては非常に難しい。公共事業を発注する立場にあり、慎重に立ち位置をきちっと整理したい。

商工業者、農協等の機関と連携を密に、厚真町の現状をPRし、受注業者の理解をいただくという努力はしたい。

## 一般質問

ここが聞きたい

## 住環境

# 鹿柵によって地域のシカを減少できるか

## 答 対策により住民の方々の被害は激減していく

**問** 厚真を終の棲家として空気も良く、各都市へのアクセスなど立地条件が良いことで選び、移住

定住された方が、余暇の中で家庭菜園を作った楽しんでおられる。

最近、鹿の出没が著しく、夜になると人家のそばまで来ており、家庭菜園が荒らされているのが

現状である。鹿柵の効果によって鹿を減少することができるとか。

**町長** ルーラル、フォーラムは鹿柵の外に位置する形になり、被害が集中する状況と認識している。

環境保全とあわせて移住地区の鹿の被害も減少させる、防止したいという

一挙両得の作戦で鹿柵の侵入防止策を設置することを当初予算で提案している。

この対策を講じれば住民の方々の被害は激減していくと思っている。



井上次男 議員

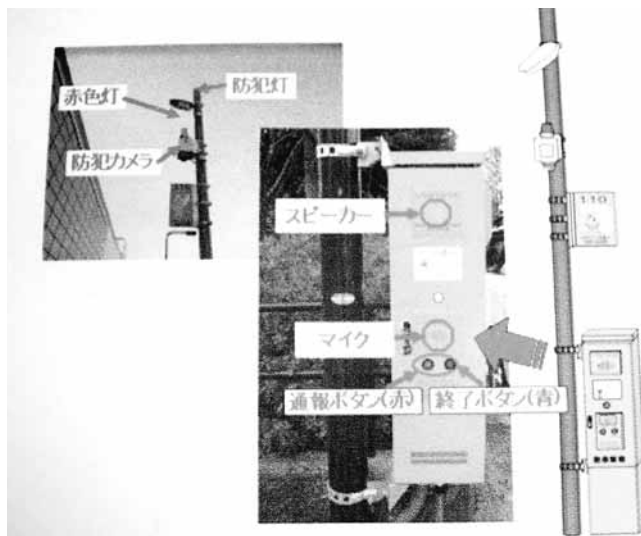
## 防犯対策

# スーパー防犯灯の設置を

## 答 見守り体制強化を最優先

**問** 町の政策の一環として安心・安全のまちづくりの中で、子どもたちを犯罪の魔の手、ひったくりや痴漢、不審者などから守るために、カメラ及び回転式の防犯灯、ボタンを押すと直接警察につながる、犯罪を未然に防止、安心感を住民に与えるために、緊急防犯装置（スーパー防犯灯）の設置が必要ではないか。

**町長** スーパー防犯灯の設置費、その後の維持費が高額で費用対効果が低く、先進事例である岩見沢市ではスーパー防犯灯を撤去し始めている。設備については、研究と周りの理解が必要であり、基本的には住民の協力、連帯で見守り体制を強化して、安心・安全を維持、確保していくことが最優先ではないかと考える。



スーパー防犯灯

## 一般質問

ここが聞きたい

## 学校教育

# 児童・生徒の体力は

**答** 全国平均レベルを超えている

**問** 厚真町の児童生徒の体力と体格についてはどのようなものか。また、健康面では、子ども議会に参加した児童から見ると、半数の児童が眼鏡を着用していた。ひと昔前までは、1クラス40人位いたが、1人から2人位であった。眼鏡の着用率が高く将来を心配しないか。給食では、地場産品の

使用はどのくらいか。

**教育長** 運動能力の調査

では、総じて本町の子どもたちの体力・運動能力について、体力は、全国平均レベルを超えていると受け止めている。また、眼鏡の使用は、全国的な比較から見ると、厚真町の視力低下は進んでいるかと思うが、極端な違いにつながると思つて

いる。  
給食の地場産品の使用を率に直すと47・8%という状況である。



海沼裕作 議員

## 農業振興

# 農業後継者の思い反映を

**答** 夢や目標とするものを聞いていきたい

**問** 第6次農業振興計画の達成率をどのように判断しているか、農業産出額で、計画作成時39億円を43億円にすることができたか伺う。

**町長** 計画98項目に対し、実施が87項目、協議・研究が進んでいるのは6項目、検討段階にも入っていないのが5項目である。金額では、25年10月時点では、目標43億円に対し、41億8700万円である。これまでの振興計画は、自らあるいは地域で取り組む目標が身近でなかったと考えている。また、農業後継者の夢や目標とするものを聞いて行きたい。



JA とまこまい広域フロンティア塾



吉岡茂樹 議員

一般質問

ここが聞きたい

農業振興

深刻な水田の渇水に対する支援策は

答 当事者の負担を実額として軽減していく

問 本年度は、冬季間の降雪不足、その後3〜5月の異常なまでの降水量不足により一部の地域で平成14年度よりも深刻な水不足となっており、各用水組合は5月中旬以降渇水対策として各関係機関へ連絡し、仮設ポンプ等を設置した。軽舞地区では、ダクトホースで総

延長約4kmの送水を行った。渇水対策費用、概算3千万円程度の支援策は、町長 平成14年度と比較して、非常に経費がかさんでいる今年度の実情であり、当然行政としても関係機関に協力を求めながら適正な支援を行いたい。平成

14年度の渇水対策のスキームが前段にあるが、単なる負担割合を踏襲するだけでは農業者の皆さんにとって非常に

厳しいものとなるので、被害に遇われた当事者が多大な負担とならないよう実額として軽減



経済対策



増税後（消費税）の地域経済の活性化と高齢者の生活支援対策は

答 恒久対策・応急対策の仕分けをし、検討していく

問 本年4月から消費税が8%となり、前年と比較して増税後の4〜5月の町内商店の売上高が落ち込んでいる。また、本町は、農業者・自営業者が対象となる国民年金受給者が非常に多く、厚生年金受給者の多い都市部とでは、日常生活に格差がついている。地域経済の活性化を図るべき農業者と高齢者支援の観点から20%程度の生活支援商品券発行の考えはあるか。

町長 町内の消費税増税前後の消費動向については、どの程度影響するか情報収集をしてきた。5月段階で若干の影響が残っている。消費税増税だけでなく燃料、電気料金の高騰などで自己防衛的な消費動向になっている。今後の状況も分析し、恒久対策、応急対策という仕分けをしながらもうひと工夫できないか、関係機関に呼び掛けて効果のある対策を検討してみた。

## 一般質問

ここが聞きたい

## 経済対策

# 消費税増税に伴う経済対策が必要では

## 答 恒久的な対策もしつかり取り組みたい

**問** 4月からの消費税増税に伴い小売店の売り上げが若干下がっているようである。本来であれば5月ぐらいに戻るのかなと思っていたのだが、なかなか戻らない。この先さらに消費税増税という話もあり、キャンセル的な対策（プレミアム商品

券等）以外にも、そろそろ長期的な視点に立った経済対策が必要では。

**町長** 長期的と応急的対策、さらに、恒久的な対策では、町民だけをターゲットにしたもの、町外まで広げたもの、個店の

努力を促すものに分けて検討するべきだと考える。

相乗効果が期待できる地域通貨の発行、ポイントカードの共通化、個店の魅力を高める努力を促す補助制度等の検討、ネット販売への支援さらに各種イベントも継続して活用する考えである。



下司義之 議員

## 道の駅

# 進捗状況は？

## 答 検討委員会で協議中である

**問** 平成24年第二回定例会（6月）で採択し、同年6月13日に議長から町長へ送付した請願（こぶしの湯及びその周辺を道の駅として登録する取り組みに関する請願）には、その後検討委員会ができたと聞いているが、現在どのようなになっているか。

**町長** 道の駅の検討委員会は平成25年12月19日に設置され、平成26年6月5日に第6回委員会が開催されている。

この6回をもって一旦検討会議を閉じ、最終の検討結果報告をたぐいまる調整中で、6月20日頃をめぐりに町へ報告するようである。

検討委員会の活動状況について、具体的な内容報告素案については現段階では承知していない。

**こんな質問もしました**  
**問** まちなか交流館の募集状況は  
**答** 応募は一団体である。



道の駅としての登録に関して検討されている、こぶしの湯及びその周辺



元気なあつまの子

# 厚真郷芸保存会



指導者

畑嶋麻由美さん

平成25年3月から厚真郷芸保存会として活動を始めました。現在、会員は25人、内13人の元気なあつまの子が練習に励んでいます。

活動の方針は、気軽に太鼓に触れることにより、心身と健全な人格形成、長幼の序を重んじ、青少年の健全な育成を図ります。また、太鼓演奏により厚真町をPRすることはもちろん、地域の創作太鼓として伝承し、さらに、指導者の育成も目指しています。

練習は、毎週水曜日、午後6時から児童会館で行っています。

興味のある方、子どもも大人も、見学、体験大歓迎です。

## ハスカップカフェ

地域の話題⑬



苫小牧信用金庫厚真支店の交差点を小学校へ向かうと、間もなくにぎやかな移動販売車に遭遇する。

今年の春から営業を始めたハスカップファーム山口農園のクレープ移動



オーナーの山口善紀さん

販売車「ハスカップカフェ」だ。イベントがある時等は機動力を生かし、道内を移動して日本一のハスカップをPRしていきたいと山口さんは言う。山口農園のクレープは生地が黒いのが特徴。ク



リームと濃厚なハスカップシロップの酸味が微妙なバランスでとても美味しい。最近では町内の産品を活用したメニュー開発にも取り組んでいる。新作「プリンアラモードクレープ」は、小林農園の平飼卵で作ったプリンと稲稈の米粉シフォンケーキ、ビターなカラメルソース、さくらんぼとハスカップコンポートがトッピングされる。全てがマッチングしたスイーツ好きにはたまらない一品。ハスカップカフェのニューチェックは欠かせない。

営業時間 11時～17時  
定休日 火曜日  
臨時休業 雨天予報の日  
問合せ電話番号 09064272137